

**中3**

単元を貫く言語活動を通して、確かな国語力を育成する

研究主題 「第3学年の「論語」と「故郷」の授業より生徒の学ぶ意欲と主体性を高める学習指導方の工夫～教科教室型のよさを生かした学習活動の在り方～」一言語活動の流れが分かる環境作りを目指して～

日立市立駒王中学校 菅原 慎也

## 1 主題設定の理由

県の学校教育指導方針では、本県の中学校国語における重点課題は「事柄や根拠を明確にして自分の考えを表現する力の育成」であると指摘されている。また努力事項には、国語を尊重する態度の育成として「古典に親しみ、我が国に伝わる言語文化について関心を広げたり深めたりする学習の充実」や社会生活に必要な言語能力の確実な育成として「単元を貫いた言語活動を位置づけた授業作りの充実」が挙げられている。そこで、各単元の中で事柄や根拠を明確にして自分の考えを表現する「書く力」の重要性を取りあげてみた。中学校学習指導要領第3学年「書くこと」の目標である「目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、論理の展開を工夫して書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを深めようとする」ことや「読むこと」の目標である「目的や意図に応じ、文章の展開や表現の仕方などを評価しながら読む能力を身に付けさせる」ことに繋げながら実践を進めていくこととする。

本校では、目的や意図に応じ文章を構成し書くこと及び読み取ることに苦手意識をもっている生徒が多い。学力診断のためのテストにおいても「文章の構成や展開をとらえる力」において県全体よりも約15ポイントほど劣っているのが実態である。

そこで、目的に応じて「読み取った」内容をもとに自分の意見を、根拠を明確にして表現する活動を取り入れ授業を進めていくことが重要であると考えた。そのためには、単元の活動の流れが一目で分かる環境があることで生徒の学ぶ意欲が向上する他、何を学ぶのかがはっきりとわかった状態で授業に臨むことができることを目指し、本主題を設定した。

## 2 研究の仮説

### (1) 仮説1

単元ごとにどのような言語活動を行うかを明確にした掲示物を作ることで、生徒がその単元で何を学ぶのかという目的意識をはっきりと持つことで身に付けたい力を明確にして授業に臨むことができるであろう。

### (2) 仮説2

古典の単元において、実生活と結びつけた授業を行うことで、関心を深め、古典の世界観が実生活に結びついていくことを知り、考えを表現することで、古典への親しもうとする気持ちが高まるであろう。

### (3) 仮説3

小説や説明的文章を読む際、ゴール地点を明確にすることで目的意識がはっきりし、自分の考えをもちながら読み取る力を身に付けることができるであろう。

## 3 実践事例1（仮説1及び仮説2の検証）

### (1) 単元名 「古典と実生活を結びつけて考え、意見をもとう！」

（教材：東京書籍 新しい国語3「論語」・）

### (2) 目 標

- ・ 論語を音読し、意味を捉え、ニュースと結びつけることで古典と実生活の結び付きについて考えをもとうとする。（国語への関心・意欲・態度）
- ・ 論語の意味を理解し、ニュースを読み取ることで、社会について考え自分の意見をもつことができる。（読む能力）
- ・ 返り点を正確に読み取り、論語を丁寧に音読することができる。（伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項）

### (3) 指導にあたって

#### (ア) 新聞記事のテーマから社会の出来事に目を向ける活動

生徒が社会の出来事と自分の知識や体験を結びつけることができるようにするため、新聞記事のテーマを通して、社会の出来事に目を向ける活動を設定する。資料1は、教師が提示した四つの新聞記事のテーマである。

#### 資料1 四つの新聞記事のテーマ

生徒はまず記事を読み、この中から最も興味・関心を持ったものを選ぶ。次に、選んだ記事のテーマを基に、関連する言葉をつなげていくマッピングを行い、その言葉の中から複数のキーワードを精選する。最後に、そのキーワードに自分の知識や体験を結び付けて、社会の出来事に対する考えを書く。このような活動を設定することで、新聞記事のテーマから社会の出来事に目を向けることができるようになると思う。

- ・ しやぶしやぶ木曽路、実は無名牛！
- ・ 富山商「岩城で打たれたなら仕方ない」
- ・ ディズニー王国を支える最新兵器とは
- ・ 女兒の口に夕食詰め込む、保育士逮捕

(イ) 社会の出来事に対する考えと「論語」の言葉を結び付ける活動

「論語」の言葉を選び、その一節を引用して自分の考えを書くことができるようにするために、300字のコラムを書き、社会の出来事に対する考えと「論語」の言葉を結び付ける活動を設定する。

資料2 提示する八つの「論語」の言葉

資料2は、提示する八つの「論語」である。生徒は、まず、音読をしながら八つの言葉のものの見方や考え方を捉える。次に一節を引用してコラムを書く。

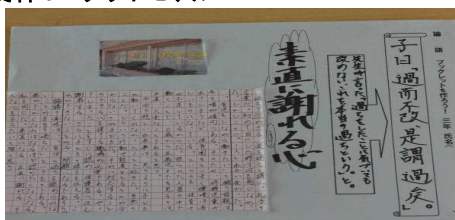
資料3は「論語」の言葉を結び付け、コラムをかくためのワークシートである。生徒はその作成を通して、社会の出来事に対する考えと「論語」の言葉を結び付ける。手順をワークシートに示すことで、どのようにコラムを作成していけばいいのかをわかりやすくし、活動がスムーズにいくようにしている。

|                            |                            |                                |                                  |                             |                               |                              |                                  |
|----------------------------|----------------------------|--------------------------------|----------------------------------|-----------------------------|-------------------------------|------------------------------|----------------------------------|
| 8.                         | 7.                         | 6.                             | 5.                               | 4.                          | 3.                            | 2.                           | 1.                               |
| 子曰、「吾道一以貫之哉。」 <sub>七</sub> | 子曰、「德不孤、必有隣。」 <sub>七</sub> | 子曰、「君子求諸己、小人求諸人。」 <sub>七</sub> | 子曰、「不曰如之何者、吾未如之何矣。」 <sub>七</sub> | 子曰、「見義不為、無勇也。」 <sub>七</sub> | 子曰、「己所不欲、勿施於人也。」 <sub>七</sub> | 子曰、「過而不改、是謂過矣。」 <sub>七</sub> | 子曰、「君子和而不同、小人同而不和。」 <sub>七</sub> |

資料3 言葉を結び付け, コラムを書くためのワークシート

このような活動を設定することで、「論語」の言葉を深く読み取り、自分の知識や体験と結び付けることができるようになる考える。

#### 資料4 グッドモデル

[illegible]

(ウ) 交流から「論語」のものの見方や考え方、人間の生き方について考える活動

書いたコラムをもとに、グループ活動を行うことで違うニュースから考えを深めた場合でも、同じ「論語」を選んだり、同じニュースを選んでも、違う「論語」を選んだりなど、現代の生活に昔の偉人の思想や考え方が大きく反映されていることに気づかせる学習を行うことで、考えを深めることができると考える。

#### (4) 指導と評価の計画

| 次 | 時      | 主 な 学<br>習 活 動                                                                                       | 主 な 評 価                                                                                                                            |
|---|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 1      | 新聞記事を読み、社会の出来事に目を向ける。<br>漢文の基礎を確認し、「論語」を音読するとともに意味を確認する。                                             | ・学習の見通しをもち、社会の出来事に目を向けようとしている。<br>(関心意欲)<br>・訓読の仕方について理解している。<br>(言語についての知識・理解・技能)                                                 |
| 2 | 2<br>3 | 社会の出来事と自分の知識や体験を結び付け、「論語」の一節を引用してコラムを完成させる。<br>・社会の出来事を選び、自分の知識や体験を結び付ける。<br>・八つの「論語」から一つを選び、コラムを書く。 | ・社会の出来事と自分の知識や体験を結び付けて、考えをまとめている。<br>(読む能力)<br>・社会の出来事と「論語」の意味を結びつけて自分の意見をまとめている。<br>(読む能力)<br>・「論語」のものの見方や考え方に触れ、コラムを書いている。(読む能力) |
| 3 | 4<br>5 | コラムを読んで話し合い、「論語」のものの見方や考え方についてや人間の生き方についてまとめる。<br>要旨を踏まえたキャッチコピーを考え、ブック                              | ・交流を通して、「論語」のものの見方や考え方について考えをまとめ、人間の生き方について自分の考えをまとめている。<br>(読む能力)<br>・コラムの要旨を踏まえたキャッチコ                                            |

|  |           |           |        |
|--|-----------|-----------|--------|
|  | レットを完成する。 | ピーを考えている。 | (読む能力) |
|--|-----------|-----------|--------|

#### (5) 本時の学習 (第4時)

(ア) 目標

コラムを通して、「論語」のものの見方や考え方、人間の生き方について自分の考えをもち、まとめることができる。

(イ) 準備・資料

自己評価カード、コラム (ワークシート)

(ウ) 展開

| 学習活動・内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 指導上の留意点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 学習課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>コラムを読んで話し合い、「論語」と現代の結び付きについて考えを深め、まとめよう。</p> </div> <p>2 「論語」の音読をする。</p> <p>3 話し合いの仕方を確認する。<br/> (目的) 人間の生き方についての考えを深める<br/> (流れ) ①コラムを読み、考えをノートに記入する。<br/> ②人間の生き方について意見交換する。</p> <p>生徒A:「木曾路しゃぶしゃぶ 実は無名牛」<br/> 「君子は和して同ぜず、小人は同じて和せず」<br/> 流されない心をもつことが大切</p> <p>生徒B:「富山商 岩城に打たれたなら仕方ない」<br/> 「徳は孤ならず、必ず隣有り」<br/> 思いやりをもつことで誰かが傍に居てくれる。</p> <p>4 話し合ったことをもとに、人間の生き方について自分の考えを200字でまとめる。<br/> (1)「論語」のものの見方や考え方について<br/> (2)人間の生き方について</p> <p>5 考えを発表し、本時のまとめをする。<br/> ・「論語」に描かれた人間の生き方は現代にも通じるものが多い。<br/> ・現代にも通じる「論語」だからこそ、「論語」のすばらしさを知る人が増えてほしい。</p> <p>6 自己評価カードを記入する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>全体で八つの「論語」を音読した後、列ごとに論語を音読し、「論語」を身近に感じながらものの見方や考え方を捉えられるようにする。</li> <li>話し合いの目的と流れを確認することで、本時の学習の見通しを持つとともに、お互いの考えの共通点と相違点を比較し、自分の考えを伝えることができるようにする。</li> <li>コラムを読んで、良い考えだと思う所はノートに箇条書きし、話し合う際には、友だちに自分の考えがよく伝わるように補足説明しながら意見交換することで、目的をもって活動できるようにする。</li> <li>上手くノートに書き出せない生徒には、友だちの文章のまとめの部分を書き抜くように助言し、考えに着目して読めるようにする。</li> <li>話し合いを通して知った互いの考えを取り入れることを助言し、自分の考えを深められるようにする。</li> <li>自分の考えが書けない生徒には、書き出しとまとめの部分の型を提示することで、書き出せるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(評)コラムを読み合い、「論語」のものの見方や考え方について考えをまとめ、人間の生き方について自分の考えをまとめている。<br/> (ノート・話し合い活動)</p> </div> |

#### 4 実践事例2 (仮設1及び仮設3の検証)

(1) 単元名「人物相関図を作り、社会への希望や思いを捉えて訴えよう」

(2) 目標

- 「故郷」を読み、作品に表れたものの見方や考え方と自分の考えを結び付け、深めようとする。(国語への関心・意欲・態度)
- 登場人物の設定の仕方を捉え内容を理解し、描写の良さについて批評しながら、人物相関図に自分の考えをまとめることができる。(読むこと)

- 時間の経過による言葉遣いの変化や世代による言葉の違いに注意して読むことができる。  
(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

### (3) 指導にあたって

本学級の生徒は、小説等の物語文に興味を示す生徒が多い。みんなに薦めたい一冊の本推進事業においても30冊達成者が35人中10人いる。それ以外の生徒も15冊以上25冊未満まで読み進めている生徒が多い。

国語科実態調査（平成26年10月8日実力テストの結果より）

3年1組 男子18名 女子14名 計32名

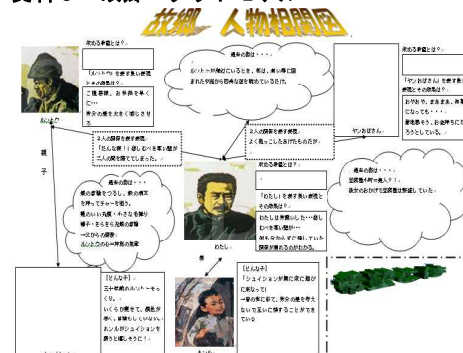
- 傍線部について、登場人物の気持ちに最も適切なものを選びなさい。  
正答75% 誤答25%
- 傍線部について、登場人物が恥じた理由として適切なものを選びなさい。  
正答64% 誤答36%
- 傍線部について、登場人物がそう感じた理由を「永遠」「目指す」という二語を使って三十字以上四十五字以内で答えなさい。  
正答25% 誤答64% 無答11%

しかし、上記の実態調査からもわかるように、登場人物の気持ちを選択肢から選び答える問題については概ね理解でき正解することができるが、与えられた語句を使って自分の言葉で説明する力に劣っており、読むことの指導事項(1)のア「文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと」の力が落ち込んでいると捉えることができる。

本単元では、「登場人物がもつ社会への希望を捉えながら、人物相関図を作る」という言語活動を単元を貫いて設定した。人物相関図には、「現在の人物の様子と過去の人物の様子」をまとめる部分と「わたし」「ルントウ」「ヤンおばさん」の3人の人物を象徴する描写や会話を評価する部分、さらに各人物が求める希望とは何かをまとめる部分を設ける。そこから、生徒自身が社会に求める希望とは何かを捉えることにつながると考える。これらの活動を通して、様々な小説を読む際、人物の関係性やそこに隠れる伏線に気づくことができるようにする。したがって、「文章の論理の展開の仕方、場面や登場人物の設定の仕方をとらえ、内容の理解に役立てる」(C読むことイ)ことを実現するのにふさわしい言語活動であると考ええる。

まず本文については、第一時の中で全体で読み進めていくものとする。その際、主な登場人物として「ルントウ」「わたし」「ヤンおばさん」に着目するようにし、各人物がどのような思いをもっているのかわかる部分に線を引かせる。人物像がわかる本文を抜き出したり、自分の言葉に置き換えたりして記入することができる人物相関図表を配付し、埋めていくことができるようにする。この時、バラバラに生徒が動かないよう、どの人物から順番にやっていくのかを示した上で学習に入るよう指示をすることとする。自分の言葉でどのような人物であるのか、どのような考えをもっているのかということを文章にすることで、与えられた語句を用いて、自分の言葉で説明する力をつけることができると考える。

#### 資料5 故郷 グッドモデル



### (4) 指導と評価の計画

| 次 | 時 | 主 な 学 習 活 動                                                      | 主 な 評 価                                                     |
|---|---|------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 1 | 1 | 人物相関図のグッドモデルを見て、「故郷」の人物相関図を作ることを知る。故郷を通読し、登場人物について描かれた語句や文に線を引く。 | ・学習の見通しをもち、人物相関図を作るために、人物の描写に注意して作品を読もうとしている。<br>(関心・意欲・態度) |
| 2 | 2 | 人物相関図に登場人物の特徴をまとめる。とくに、過去の様子と現在の様子がわかる人物については分けてまとめる。            | ・人物相関図を作るために、場面や登場人物の特徴を抑えながら設定を捉え、人物相関図を作成している。<br>(読む能力)  |
|   | 3 | 「わたし」「ルントウ」「ヤンおばさん」の3人の人物を象徴する描写や会話を抜き出                          | ・登場人物を象徴する会話や描写を抜き出し、その良さや効果について                            |

|   |   |                                                              |                                                                                            |
|---|---|--------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
|   | 4 | し、良さやその効果について評価する。                                           | 人物相関図にまとめている。<br>(読む能力)<br>・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに着目して読み、背景を捉えている。<br>(言語についての知識・理解・技能) |
| 3 | 5 | 各人物が求める「希望」についてまとめ、自分自身が求める社会への希望とは何かキャッチコピーを作り、人物相関図を完成させる。 | ・各登場人物の願う「希望」について根拠を明確にして捉え、自分の考える社会への希望を自分の言葉でまとめている。<br>(読む能力)                           |

## (5) 本時の学習

### (ア) 目標

前時までにおさえた各登場人物の特徴を参考に、本文に書かれたそれぞれの希望についてまとめ、自分自身が考える社会への希望と物語が伝えようとする希望をまとめキャッチコピーにすることができる。

### (イ) 準備・資料

自己評価カード、人物相関図

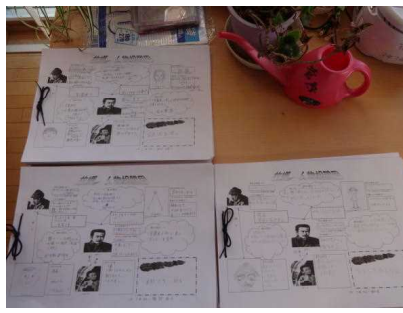
### (ウ) 展開

| 学 習 活 動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 指導上の留意点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>1 前時の復習を行う。<br/>「わたし」「ルントウ」「ヤンおばさん」の人物を象徴する描写や会話の効果について確認する。</p> <p>わ 私は身震いしたらしかった。悲しむべき厚い壁が、二人の間を隔ててしまったのを感じた。<br/>→何もわからずに接していた二人の関係がもうくもれた感じが分かりやすく書かれている。</p> <p>ル ご隠居様、お手紙を早くにいただきました。<br/>→身分の差を大きく感じることでできる文章。</p> <p>ヤ おやおや、まあまあ、知事様になっても金持ちじゃない？<br/>→意地悪そうな雰囲気を出して、お金持ちにたかろうとしている様子が感じられる。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <p>各登場人物が求める「希望」を明らかにし、自分が社会に求める希望をキャッチコピーにしよう。</p> <p>3 グループで活動し、人物相関図に各登場人物の「希望」についてまとめる。</p> <p>各登場人物が求める「希望」について書かれた描写を抜き出し、自分の言葉・友だちの言葉で求める希望についてまとめる。<br/>(教科書 P161 を参考)</p> <p>わ 無駄の積み重ねで…<br/>→人と人との対等な心のつながりを求める<br/>→苦労だけを重ねて、心が折れないようにしたい</p> <p>ル 打ちひしがれて…<br/>→社会の生活の苦しさには耐え、感情がなくならないような社会を望む<br/>→やけを起こして野放図に…</p> <p>ヤ →ひねくれた生活にならない社会を望む<br/>→自分だけが良い暮らしになるようにと自分勝手に考えない社会を望む<br/>→勝手を発表し、意見を交流する</p> <p>4 考えを発表し、意見を交流する</p> <p>5 登場人物が求めた「希望」をもとに、自分自身が願う社会に対する希望をキャッチコピーにし、人物相関図を完成させる。</p> <p>・皆が平等の社会を作ろう！<br/>・意見が言い合える社会環境を！<br/>・仕事もプライベートも心がつながり合う社会に！<br/>・温厚な性格が社会に広まりますように！</p> | <p>・前時の復習を行うことで、各人物の背景がはっきりと頭に想起されるようにする。</p> <p>・ただ答えだけを発表するのではなく、根拠となる文章をしっかりと発言するよう助言をする。</p> <p>・人物相関図を見ながら、自分がまとめた内容が書かれているかどうかを確認させる。</p> <p>・今回課題となっている文章 P162 ～ 163 を全員で音読することで、まとめのヒントとなるようにする。</p> <p>・自分の言葉で表現できない時には、グループの仲間と協力して、考えをまとめるよう指示する。</p> <p>・各人物の根拠となる文章を抜き出し、なぜそう考えるのかをできるのかを、はっきりと繋げながらまとめるよう助言をする。</p> <p>・辞書を各グループに準備することによって、難しい表現をすぐに調べられるようにする。</p> <p>・グループごとに登場人物を割り振って発表をさせ、時間を短縮しながら意見交流ができるようにする。</p> <p>・「論語」の授業で行ったキャッチコピー作りを想起させ、活動がスムーズにいくよう助言をする。</p> <p>・各登場人物が願った希望を参考に、将来自分たちが担う社会に対する願いをキャッチコピーにすることで、文章が伝えたいことに近づけるようにする。</p> <p>・考えたキャッチコピーを清書し、人物相関図を完成させ、「故郷」に表れる人物のつながりを確認する。</p> <p>評) 社会に願う自分の「希望」について考えをまとめ、文脈を捉えながらキャッチコピーを作ることができる。(人物相関図)</p> |

## 5 研究の成果

### (1) 仮設1について

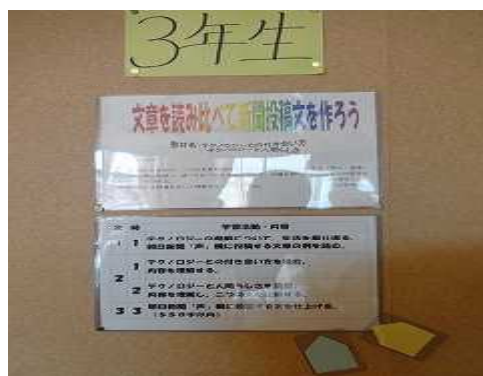
単元を貫く言語活動を設定することで、生徒が「何を学ぶのか」ということをしっかりと理解した上で授業に臨むことができた。また、グループ活動や表現活動を行う際、どのような活動を行うのが明確になっていることで、活発な活動が行われるようになった。さらに授業を進行している単元の掲示物（グッドモデル・ワークシートの拡大など）を貼り出すことで、生徒達が授業前に確認したり、質問をしたりすることで授業内容を深めていくこともできた。単元が終わった後には、教科教室型の良さを生かすため、国語ステーションにあるコルクボード（壁）に完成したワークシートをクラスごとに意見をまとめ貼り出すことで、授業が終わった後にも考えを深めることができるように工夫をすることで、他のクラスや仲間がどのような考えをもっていたのかを交流する場をさらにつくることができていた。



さらに、単元を貫く言語活動が明確化するように、各単元の学習の進行表を掲示することとした。今まで以上に、授業で行うことが明確化することで、生徒の目標設定もしやすくなり、目標をしっかりとをもって授業に臨むことができるようになって考えた。

### (2) 仮設2について

「漢文は苦手」「古典は嫌」という声が多々聞かえてきていたが、話題のニュースをまずもつてくることで、「古典」という概念から生徒を離すことができた。ニュースに対する自分の考えを明らかにしたあと、その考えに一番近い「論語」の考えを選ぶことで、古典と現代の結び付きを捉えながら自分の考えをまとめることができていた。



### (3) 仮設3について

小説や説明的文章を読む際、今回は本校の弱点である「文脈の中における語句の効果的な使い方など、表現上の工夫に注意して読むこと」を目標に単元の計画を立てた。人物相関図を作りあげていく過程で、表現上の工夫などに着目させることで、「何をキーワード」にしていけば、読み取りやすくなっていくかを確認しながら展開することができた。また、毎時間グループ活動を取り入れることで、自分では気づくことのできなかった表現にも目を向けさせることができた。

## 6 今後の課題

苦手意識の高いものに対してどのような手だてを行うことが大切なのかを考え、授業を構想していく必要がある。単元を貫く言語活動を位置づけた後、生徒の目にも入るように掲示することが大切なことと分かったため、どのように生徒に提示していくことが効果的かを考える必要がある。

今回は、「掲示物」という抽象的な部分に的を絞ってしまっていたので、主である「言語活動」が果たして生徒の身に付けるべき力に近づいていたかが見えにくくなってしまった。また、授業を構成していく上で、自己評価カードに流れをすべて載せてしまっていたため、生徒主体の言語活動ではなかった。生徒が授業の流れを考えられるグッドモデルを工夫して示し、生徒が主体的に学ぶことができる授業を実践していく必要がある。